科目名: 保健体育5a		英文名: Health and Physical Education 5a	
担当者: 齊藤 彰 逸見俊太			
工学科: 総合システム	学年: 5	コース: 全	開講期: 前期
科目種別: 必修	単位数: 0.5		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 球技・基礎体力の向上 第 2週 球技・基礎体力の向上 第 3週 球技・基礎体力の向上 第 4週 球技・基礎体力の向上 第 5週 新体力テスト 第 6週 新体力テスト 第 7週 新体力テスト 第 8週 体育理論・保健 3-1社会福祉 3-2パラリンピック 第 9週 球技・基礎体力の向上 第10週 球技・基礎体力の向上 第11週 球技・基礎体力の向上 第12週 球技・基礎体力の向上 第13週 体育理論・保健 3-3年齢と運動 3-4リハビリテーション 第14週 球技・基礎体力の向上 第15週 球技・基礎体力の向上	■授業概要・方法等 少年から青年へと成長する過渡期にある高専の学生にとって心身の健全な育成の為に行なわれる保健体育の学習は極めて重要です。将来社会人として生きていく際にも、健康を自分自身で管理す為の基本知識を養う事を目標とします。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することにより、 1. (D-G2)(D-2) 集団行動を通じて協調性を養う。 2. (D-G2)(D-2) 多種多様なスポーツの基本的ルールを学び、参加する楽しさを覚えることができるようになります。 ■教科書 「保健体育概論(増補版)」近畿地区高等専門学校体育研究会編 「最新スポーツルール」大修館」 ■参考文献 特にありません。 ■関連科目 保健・健康科学 ■成績評価基準 種類: 定期試験(1回) 方式: 記述式 体育では、各種目の運動技能及び授業への取り組み方から評価する。各競技及び新体力テストによるスキル・テスト(40%)と授業への積極性及び課題評価(40%)と前期に行なう定期考査(20%)によって 総合的に評価します。 90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」、60点未満「不可」 ■授業時間外に必要な学修 課題レポートを教科書・参考書で調べ、自宅学習して下さい。 ■教員所在場所 : 齊藤彰 : 本館1階学生部 逸見俊太:本館2F寮務部 ■授業評価アンケート実施 10月に Web Class にて実施します。 ■メールアドレス 齊藤:saitoh@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 齊藤(金曜8限学生部)

科目名: 保健体育5b		英文名: Health and Physical Education 5b	
担当者: 齊藤 彰 逸見俊太			
工学科: 総合システム	学年: 5	コース: 全	開講期: 後期
科目種別: 必修	単位数: 0.5		

授 業 計 画	授 業 概 要
第1週 答案返却・解答 第2週 球技・レクリエーションスポーツⅠ 第3週 球技・レクリエーションスポーツⅡ 第4週 球技・レクリエーションスポーツⅢ 第5週 球技・レクリエーションスポーツⅣ 第6週 体育理論・保健 4-1保健行政 4-2医療制度 第7週 陸上競技・マラソン 第8週 陸上競技・マラソン 第9週 陸上競技・マラソン 第10週 陸上競技・マラソン 第11週 体育理論・保健 4-3保健に関する国際協力 4-4国際的機関の役割 第12週 陸上競技・マラソン計測 第13週 新体力テスト 第14週 新体力テスト 第15週 新体力テスト	■授業概要・方法等 少年から青年へと成長する過渡期にある高専の学生にとって心身の健全な育成の為に行なわれる保健体育の学習は極めて重要です。将来社会人として生きていく際にも、健康を自分自身で管理す為の基本知識を養う事を目標とします。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することにより、 1. (D-G2)(D-2)集団行動を通じて協調性を養う。 2. (D-G2)(D-2)多種多様なスポーツの基本的ルールを学び、参加する楽しさを覚えることができるようになります。 ■教科書 「保健体育概論(増補版)」近畿地区高等専門学校体育研究会編 「最新スポーツルール」大修館」 ■参考文献 特にありません。 ■関連科目 保健・健康科学 ■成績評価基準 種類: 定期試験(1回) 方式: 記述式 体育では、各種目の運動技能及び授業への取り組み方から評価する。各競技及び新体力テストによるスキル・テスト(40%)と授業への積極性及び課題評価(40%)と後期に行なう定期考査(20%)によって総合的に評価します。 90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」、60点未満「不可」 ■授業時間外に必要な学修 課題レポートを教科書・参考書で調べ、自宅学習して下さい。 ■教員所在場所 : 齊藤彰 : 本館1階学生部 逸見俊太:本館2F寮務部 ■授業評価アンケート実施 2月に Web Class にて実施します。 ■メールアドレス 齊藤:saitoh@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 齊藤(金曜8限学生部)

科目名： 解析学4a		英文名： Analysis 4a	
担当者： 鍬田　英也			
工学科： 総合システム	学年： 4	コース： 全	開講期： 前期
科目種別： 選択	単位数： 1		

授　業　計　画	授　業　概　要
第 1週　複素関数　正則関数（複素数と極形式） 第 2週　複素関数　正則関数（絶対値と偏角） 第 3週　複素関数　正則関数（複素関数） 第 4週　複素関数　正則関数（正則関数） 第 5週　複素関数　正則関数（コーシー・リーマンの関係式） 第 6週　複素関数　正則関数（正則関数による写像） 第 7週　複素関数　正則関数（逆関数） 第 8週　正則関数に関する演習 第 9週　答案返却・解答 　　複素関数　積分（複素積分） 第10週　複素関数　積分（コーシーの積分定理） 第11週　複素関数　積分（コーシーの積分表示） 第12週　複素関数　積分（数列と級数） 第13週　複素関数　積分（関数の展開） 第14週　複素関数　積分（孤立特異点と留数） 第15週　複素関数　積分（留数定理）	■授業概要・方法等 微分積分学ⅠⅡで学んだ実数上での微積分法を基礎に複素数上での微積分法を修得します。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (A-G1)(A-1)複素関数とはどのようなものかを理解できる。 2. (A-G1)(A-1)複素関数に関する基本的な定理を理解する。 3. (A-G1)(A-1)複素関数に関する基本的な計算ができる。 ようになるようになります。 ■教科書 新訂　応用数学（大日本図書） ■関連科目 基礎数学、微分積分学Ⅰ・Ⅱ、応用数学 ■授業時間以外に必要な学修 講義中に指示された課題等に取り組み、その結果を担当者が確認する。 ■成績評価方法および基準 種類： 定期試験（2回），方式： 記述式 定期考査成績：定期試験(80%)、課題（20%）として評価します。 最終成績：2回の定期考査成績の平均とします。 90点以上「秀」、80点以上90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」、60点未満「不可」 ■教員所在場所/オフィスアワー 2号館2階共通教育職員室/平日12時15分から13時 ■授業評価アンケート実施方法 10月にWeb Class にて実施します。

科目名： 解析学4b		英文名： Analysis 4b	
担当者： 鍬田　英也			
工学科： 総合システム	学年： 4	コース： 全	開講期： 後期
科目種別： 選択	単位数： 1		

授　業　計　画	授　業　概　要
第 1週　答案返却・解答 　　偏微分（偏導関数、接平面） 第 2週　偏微分（合成関数の微分法、高次偏導関数） 第 3週　偏微分（多項式による近似） 第 4週　偏微分（極大・極小） 第 5週　偏微分（陰関数の微分法） 第 6週　偏微分（条件付き極値問題） 第 7週　偏微分（包絡線） 第 8週　偏微分の応用に関する演習 第 9週　重積分（2重積分の計算） 第10週　重積分（座標軸の回転） 第11週　重積分（極座標による2重積分） 第12週　重積分（変数変換） 第13週　重積分（変数変換） 第14週　重積分（広義積分） 第15週　重積分（2重積分のいろいろな応用）	■授業概要・方法等 必修科目の「応用数学」で学んだ「偏微分」「重積分」で扱えなかったそれぞれの応用について修得します。 ■到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (A-G1)(A-1)偏微分法をもちいて極大・極小、条件付き値問題等について解くことができる。 2. (A-G1)(A-1)変数変換をすることによる重積分の計算ができるようになる。 ようになります。 ■教科書 新訂　微分積分学Ⅱ（大日本図書） ■関連科目 微分積分学Ⅰ ■授業時間以外に必要な学修 講義中に指示された課題等に取り組み、その結果を担当者が確認する。 ■成績評価方法および基準 種類： 定期試験（1回），方式： 記述式 定期考査成績：定期試験(40%)、単元テスト（40%）、課題（20%）として評価します。 最終成績：定期考査成績に準じます。 90点以上「秀」、80点以上90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」、60点未満「不可」 ■教員所在場所/オフィスアワー 2号館2階共通教育職員室/平日12時15分から13時 ■授業評価アンケート実施方法 2月に Web Class にて実施します。

科目名： 解析学5a		英文名： Analysis 5a	
担当者： 鍬田英也			
工学科： 総合システム	学年： 5	コース： 全	開講期： 前期
科目種別： 選択	単位数： 1		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 ガイダンス 空間ベクトルの復習 第 2週 外積 第 3週 ベクトル関数 第 4週 曲線 第 5週 曲面 第 6週 勾配 第 7週 発散と回転 第 8週 発散と回転 第 9週 答案返却・解答 線積分 第10週 線積分 第11週 グリーンの定理 第12週 面積分 第13週 面積分 第14週 発散定理 第15週 ストークスの定理	■授業概要・方法等 微分積分学のうちで、必修科目の「数学」や「応用数学」で扱い切れない単元を修得します。 ■到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (A-G1)(A-1) ベクトル関数、スカラー場、勾配、発散と回転、ベクトルの積分、線積分、面積分等の基本的考えを理解し、具体的な計算をする ことができるようになります。 ■教科書 新応用数学(大日本図書) ■参考文献 なし ■関連科目 微分積分学Ⅰ・Ⅱ、線形代数学、応用数学 ■授業時間以外に必要な学修 講義中に指示された課題等に取り組み、その結果を担当者が確認する。 ■成績評価方法および基準 種類： 定期試験(2回), 方式： 記述式 定期考査成績：定期試験(80%)、課題(20%)として評価します。 最終成績：定期考査成績の平均とします。 90点以上「秀」、80点以上90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」、60点未満「不可」 ■教員所在場所/メールアドレス/オフィスアワー 本館2階企画広報部/titoh@ktc.ac.jp/平日12時15分から13時 ■授業評価アンケート実施方法 10月にWeb Class にて実施します。

科目名： 解析学5b		英文名： Analysis 5b	
担当者： 鍬田英也			
工学科： 総合システム	学年： 5	コース： 全	開講期： 後期
科目種別： 選択	単位数： 1		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 答案返却・解答 ラプラス変換の定義と例1 第 2週 ラプラス変換の定義と例2 第 3週 基本的性質1 第 4週 基本的性質2 第 5週 ラプラス変換の演習1 第 6週 ラプラス変換の演習2 第 7週 ラプラス変換の表の作成 第 8週 逆ラプラス変換1 第 9週 逆ラプラス変換2 第10週 逆ラプラス変換の演習1 第11週 逆ラプラス変換の演習2 第12週 微分方程式への応用1 第13週 微分方程式への応用2 第14週 たたみこみ 第15週 線形システムの伝達関数とデルタ関数	■授業概要・方法等 微分積分学のうちで、必修科目の「数学」や「応用数学」で扱えなかった単元を修得します。 ■到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (A-G1)(A-1)ラプラス変換とはどのようなものかを理解する。 2. (A-G1)(A-1)基本的なタイプのラプラス変換、逆ラプラス変換を求めることができる。 3. (A-G1)(A-1)ラプラス変換を微分方程式を解く事に利用できる。 ようになります。 ■教科書 新応用数学(大日本図書) ■関連科目 微分積分学Ⅰ・Ⅱ、応用数学 ■授業時間以外に必要な学修 講義中に指示された課題等に取り組み、その結果を担当者が確認する。 ■成績評価方法および基準 種類： 定期試験(1回), 方式： 記述式 定期考査成績：定期試験(80%)、課題(20%)として評価します。 最終成績：定期考査成績に準じます。 90点以上「秀」、80点以上90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」、60点未満「不可」 ■教員所在場所/メールアドレス/オフィスアワー 本館2階企画広報部/titoh@ktc.ac.jp/平日12時15分から13時 ■授業評価アンケート実施方法 2月に Web Class にて実施します。

科目名： 法学a		英文名： Jurisprudence a	
担当者： 西　孝			
工学科： 総合システム	学年： 5	コース： 全	開講期： 前期
科目種別： 選択	単位数： 1		

授　業　計　画	授　業　概　要
1週　ガイダンス　立法、法治、行政、法の解釈の仕方 2週　法と社会生活（エンジニアと法：著作権、特許法、その他）、法と道徳 3週　法と強制、権利と義務 4週　権利の種類 5週　法の適用（裁判規範、組織規範、行為規範としての法） 6週　裁判制度（刑事事件、民事事件、行政事件）、裁判所の組織 7週　裁判の基準となるもの、法の解釈、法の体系 8週　実定法の体系、法典（公法、私法、社会法） 9週　国家と法、憲法 10週　日本国憲法 11週　日本国憲法 12週　日本国憲法 13週　日本国憲法 14週　日本国憲法 15週　まとめ、振り返り	■授業概要・方法など 法学に関する、基本的な内容を講義する。テキストだけでなく、個人の生活やビジネスの場面における具体的なケースの紹介、新聞記事等をもちいるなどして、法との関わりを身近に感じることができる講義を心がける。 ■学習・教育目標および到達目標 法制度や法律の基本的考え方、成り立ち、適用などについて理解することを目標とする。個人として、およびエンジニアという職業人としての関わり方についても触れていきたい。 ■教科書 『現代法学入門［第4版］』伊藤正己・加藤一郎編、有斐閣双書 ■参考文献 『プレップ法学を学ぶ前に』道垣内弘人著（弘文堂） ■関連科目　法学b ■成績評価方法および基準 種類：筆記試験（期末考査の1回）とレポート（講義時間中に理解度確認の小テストをおこなう。成績評価には加えない）。 最終成績：定期考査成績およびレポートの評価と授業参加態度を付加する。 90点以上「秀」，80点以上90点未満「優」，70点以上80点未満「良」，60点以上70点未満「可」，60点未満「不可」 ■教員所在場所　本館2階応接室 ■授業評価アンケート実施方法 ■メールアドレス　tnishi@ktc.ac.jp ■オフィスアワー　水曜日13:00～14:25

科目名： 法学b		英文名： Jurisprudence b	
担当者： 西　孝			
工学科： 総合システム	学年： 5	コース： 全	開講期： 後期
科目種別： 選択	単位数： 1		

授　業　計　画	授　業　概　要
1週　民法の基本原則 2週　民法（総則−取引の主体・客体、契約） 3週　民法（意思表示−代理権、委任、その他） 4週　民法（物件法−所有権、質権、抵当権等） 5週　民法（債権法−事務管理、不法行為、損害賠償、その他） 6週　民法（債権法−賃貸借、消費貸借、その他） 7週　民法（親族法──婚姻、相続・生前贈与、その他） 8週　民法（相続法） 9週　商法、会社法 10週　会社法 11週　労働法（労働基準法） 12週　労働法（労働基準法） 13週　労働組合法、労働関係調整法 14週　労働者派遣業法 15週　振り返り	■授業概要・方法など 法学に関する、基本的な内容を講義する。テキストだけでなく、個人の生活やビジネスの場面における具体的なケースの紹介、新聞記事等をもちいるなどして、法との関わりを身近に感じることができる講義を心がける。特に、民法の基本原則および契約などに関する基本的な事項が理解されるよう心がける。 ■学習・教育目標および到達目標 民法の基本原則、商法、労働法など、社会人として知っておくことが望ましい法律的な知識の理解できるように、時には具体的な例を示しながら、法および法制度に対する理解を促していきたい。 ■教科書 『現代法学入門［第4版］』伊藤正己・加藤一郎編、有斐閣双書 ■参考文献 『プレップ 法学を学ぶ前に』 道垣内弘人（弘文堂）、『プレップ民法』道垣内弘人著（弘文堂）。ほかに適宜紹介します。 ■関連科目　法学a ■成績評価方法および基準 種類：筆記試験、レポート（理解度確認のための小テストを講義時間中におこなう。成績評価には加えない）。 定期考査成績：筆記試験（期末試験、1回）にレポートの評価を付加する。 最終成績：定期考査成績およびレポートと授業参加態度。 90点以上「秀」，80点以上90点未満「優」，70点以上80点未満「良」，60点以上70点未満「可」，60点未満「不可」 ■教員所在場所　本館2階応接室 ■授業評価アンケート実施方法　2月にWeb Classにて実施します。 ■メールアドレス　tnishi@ktc.ac.jp ■オフィスアワー　13:00～14:25 授業時間外に必要な学習：新聞で裁判、立法などにかかわる記事も読むように心がけ、法の視点から社会を見る目を日頃から養って欲しい。

科目名: 英語特講 a		英文名: English for International Communication a	
担当者: 福岡　玲子			
工学科: 総合システム	学年: 5	コース: 全	開講期: 前期
科目種別: 選択	単位数: 1		

授業計画	授業概要
第 1週　Let's Begin!: Class / teacher introduction 第 2週　Classroom English / English Use Activity / Quiz 第 3週　Questions and Answers - proper grammar and use 第 3週　Who are you?: Student written introductions 第 4週　Who are you?: Student spoken introductions 第 5週　Listen and be heard: Pronunciation and Fluency 第 6週　Listen and be heard: Throw out Katakana English 第 7週　Get Excited!: Voice Inflection Techniques & Practice 第 8週　Mid-Term QUIZ / Review & Answer Explanation 第 9週　Guided Interview: Questions 第10週　Interview answers and practice 第11週　Interview Testing 第12週　Mini Presentation 1: What to say 第13週　Mini Presentation 1: writing an introduction 第14週　Mini Presentation 1: writing the introduction /conclusion 第15週　Mini Presentation 1: introduction speaking quiz	■授業概要・方法等 小グループによる実践的かつ自発的な英会話を通して、国際コミュニケーションのための英語を習得します。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (D-G1)(D-1) 英語の学習を通して、異文化に対する理解を深める。 2. (E-G2)(E-2) 英語のスピーキング能力を向上させる。 3. (E-G2)(E-2) 英語のリスニング能力を向上させる。 ことができるようになります。 ■教科書　Handouts and worksheets created by teacher（教員が作った作業） ■参考文献　英和辞書と和英辞書、又は電子辞書。 ■関連科目　英語1、英語2、英語3、英語4、TOEICプラス、外国語文献講読 ■成績評価方法および基準 種類：筆記試験およびスピーチ：定期試験 40%（1回）・スピーチ，ノート，作業プリント,等60% 定期考査成績：定期試験 40%（1回）・スピーチ，ノート，作業プリント,等60% スピーチ：自信をもって英会話(リスニング・スピーキング)を実践する能力を評価します。 最終成績：定期考査成績の平均とします。 90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」 60点以上～70点未満「可」、60点未満「不可」 ■教員所在場所　2号館2階共通教育教員室 ■授業評価アンケート実施方法　10月に Web Class にて実施します。 ■メールアドレス　fukuoka@ktc.ac.jp ■オフィスアワー　月曜日 12時25分～12時50分

科目名: 英語特講 b		英文名: English for International Communication b	
担当者: 福岡　玲子			
工学科: 総合システム	学年: 5	コース: 全	開講期: 後期
科目種別: 選択	単位数: 1		

授業計画	授業概要
第 1週　Mini Presentation 1: writting the body 第 2週　Mini Presentation 1: writing the body / speaking practice 第 3週　Mini Presentation 1: Speaking TEST 第 4週　Mini Presentation 2: writing introduction and conclusion 第 5週　Mini Presentaion 2: writing the body 第 6週　Mini Presentaion 2: writing the body / speaking practice 第 7週　Mini Presentation 2: Speakin TEST 第 8週　Big Presentation: (research related) let's start 第 9週　Big Presentation: writing introduction section 第10週　Big Presentation: writing conclusion section 第11週　Big Presentation: speaking practice/writing body section 第12週　Big Presentation: writing body section and power point 第12週　Big Presentation: writing body section and power point 第14週　Big Presentation: final practice for perfection 第15週　Big Presentation: final written & power point due Big Presentations (Speaking TEST)	■授業概要・方法等 小グループによる実践的かつ自発的な英会話を通して、国際コミュニケーションのための英語を習得します。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2) 英語の使用を通して、コミュニケーション能力を向上させる。 2. (E-G2) 英語の使用を通して、プレゼンテーション能力を向上させる。 ことができるようになります。 ■教科書　Handouts and worksheets created by teacher（教員が作った作業） ■参考文献　英和辞書と和英辞書、又は電子辞書。 ■関連科目　英語1、英語2、英語3、英語4、TOEICプラス、外国語文献講読 ■成績評価方法および基準 種類：筆記試験およびスピーチ：定期試験 40%（1回）・スピーチ，ノート，作業プリント,等60% 定期考査成績：定期試験 40%・スピーチ，ノート，作業プリント,等60% スピーチ：自信をもって英会話(リスニング・スピーキング)を実践する能力を評価します。 最終成績：定期考査成績とします。 90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」 60点以上～70点未満「可」、60点未満「不可」 ■教員所在場所　2号館2階　共通教育科教員室 ■授業評価アンケート実施方法　2月に Web Class にて実施します。 ■メールアドレス　fukuoka@ktc.ac.jp ■オフィスアワー　月曜日 12時25分～12時50分

科目名： TOEICプラスa		英文名： TOEIC Plus a	
担当者： 高畑時子			
工学科： 総合システム	学年： 5	コース： 全	開講期： 前期
科目種別： 選択	単位数： 1.5		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 Unit 1 人物の様子や動作。動作を表す～ing形に慣れる Part 5:動詞の変化。主語と時制の基礎 第 2週 Unit 2 Part 2:疑問詞を使う問い。 主語と時制を手掛かりに Part 5:動詞の形を決める要素。未来の表現 第 3週 Unit 3 Part 3:店頭での会話。会話の場所と話者の特定。 Part 6:動詞にからむ補充。ビジネスレターを使って。 第 4週 Unit 4 Part 4:案内放送。放送の場所と目的を聞き取る。 Part 7:公共施設の掲示。対象者、目的、具体的内容。 第 5週 Unit 5 Part 1:物の様子や位置。位置関係を前置詞で表す。 Part 5:時と場所の前置詞。前置詞の意味と使い分け。 第 6週 Unit 6 Part 2:Yes/No疑問文。意味のつながりで選ぶ。 第 7週 中間テスト。Unit 1～Unit 6の復習。 第 8週 Unit 7 Part 3:電話をかけた人と用件を聞き取る。 Part 6:前置詞と接続詞の補充。商品の広告文。 第 9週 Unit 8 Part 4:録音メッセージ。相手に求める行動を聞き取る。 Part 7:社内のメモ。目的、依頼内容、同義語。 第10週 Unit 9 Part 1:人物と背景の描写。写っているものの細部を聞き取る。Part 5:人や物の代名詞。名詞の言い換え。 第11週 Unit 10 Part 2:勧誘や依頼の表現。了承するか断るか聞き分け。 Part 5:品詞の使い分け。形で見分けて正しく使う。 第12週 Unit 11 Part 3: 同僚との会話。抱えている問題は何か掴む。 Part 6: 様々な品詞の補充。説明書や保証書を使って。 第13週 Unit 12 身近なラジオ放送。具体的な情報を聞き取る。 Part 7: 求人広告と応募の手紙。ダブルパッセージ。 第14週・第15週 復習と模試。	■授業概要・方法等 TOEIC初学者を対象に、TOEIC形式の問題演習やアクティビティを通じて、TOEIC450点以上取得を目標に準備しながら、リスニング・語彙力・文法力・読解力など英語力を総合的に向上させる。基本的には教科書通りに進むが、TOEIC特有の英熟語の小テストを定期的に行うことにより、効率良く目標点を達成できるようにする。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2)(E-2) TOEIC頻出単熟語に慣れ、450点取得に必要な400語を覚える。 2. (E-G2)(E-2) TOEICの問題形式に慣れ、問題を正確により早く解く。 3. (E-G2)(E-2) リスニング問題をディクテーション、レシテーションを行いつつ解くことにより、聴解力を養う。さらに、オーバーラッピング、シャドウイングも行うことにより、聴解力だけでなく、読解力、速読力およびスピーキングやライティング力も含めた英語力を総合的に高める。 ことができるようになる。 ■教科書 Yuri Wada,『TOEIC Test Workout 300』(南雲堂) ■参考文献 Tex加藤、『TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ』(朝日新聞出版) ■関連科目 英語1～4、英語演習1～4、英語特講 ■成績評価方法および基準 種類：定期試験(2回)、小テスト(15回)、方式：記述式 定期考査成績および最終成績：中間テスト40%、期末テスト40%、小テスト20%で評価する。90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70未満「可」、60点未満「不可」。ただし、TOEIC公開テストか本校実施のTOEIC IPテストで、500点以上取れた者はテストの点数に関係なく「秀」、400点以上取得者は「優」とし、中間・期末考査と比較して評価の高い方を最終成績とする。 ■授業時間外に必要な学修 次の授業で行う箇所を予め辞書等を用いて調べておくこと。 授業で指定された、単語、熟語、表現を覚えておくこと。授業の開始時に毎回、『金のフレーズ』から30語づつ、単語テストを実施する。 ■教員所在場所 本館2階 教務部 ■授業評価アンケート実施方法 10月に Web Class への入力にて実施する。 ■メールアドレス takahata@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 金曜日 12:15～12:55

科目名： TOEICプラスb		英文名： TOEIC Plus b	
担当者： 高畑時子			
工学科： 総合システム	学年： 5	コース： 全	開講期： 後期
科目種別： 選択	単位数： 1.5		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 Test 1 Part 1:写真問題。ディクテーションによる聴解力の向上。 Part 5(1):文法問題。TOEICの文法問題に慣れる。 第 2週 Test 2 Part 1:写真問題。ディクテーションでの聴解力の向上。 Test 1 Part 5(2):文法問題。TOEIC特有の文法問題に慣れる。 第 3週 Test 1 Part 2(1):短いQ & Aを正確に聞き取り、 まずはディクテーションをして聴解力の精度を上げる。 その後、シャドウイングをして文章を覚える。 第 4週 Test 2 Part 5(1):文法問題。TOEIC特有の文法問題。 Test 1 Part 2(2):短いQ & Aを正確に聞き取り、パターンや文章を覚える。 第 5週 Test 2 Part 5(2):文法問題。TOEIC特有の文法問題。 Part 2(1):短いQ & Aを正確に聞き取り、文章を覚える。 第 6週 Test 2 Part 2(2):短いQ & Aを正確に聞き取り、文章を覚える。 第 7週 中間テスト 第 8週 Test 1 Part 6:文章の選択問題。 Part 3(1):会話問題。先読みの練習。 第 9週 Test 2 Part 6:文章の選択問題。 Test 1 Part 3(2):会話問題。 先読みの練習。 第10週 Test 1 Part 4(1):モノローグから正しく情報を聴き取る。先読みの練習。 Part 7 (1): シングルパッセージ。 第11週 Test 1 Part 4 (2):モノローグから正しく情報を聴き取る。先読みの練習。Part 7 (2): ダブルパッセージ。 第12週 Test 2 Part 3 (1): 会話問題。先読みの練習。 Test 1 Part 7 (3): トリプルパッセージ。 第13週 Test 2 Part 3 (2): 会話問題。先読みの練習。 第14週 Test 2 Part 4(1):モノローグから正しく情報を聴き取る。先読みの練習。Part 7 (1): シングル・ダブルパッセージ。 第15週 Test 2 Part 4(2):モノローグから正しく情報を聴き取る。先読みの練習。Part 7 (2): トリプルパッセージ。	■授業概要・方法等 TOEIC形式の問題演習やアクティビティを通じて、TOEIC550点以上取得を目標に準備しながら、リスニング・語彙力・文法力・読解力など英語力を総合的に向上させる。公式模試のやさしいパートから開始しつつ、TOEIC特有の英熟語の小テストを定期的に行うことにより、効率良く目標点を達成できるようにする。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2)(E-2) TOEIC頻出単熟語に慣れ、前期に覚えた400語の復習をしながら、さらに新たな300語を覚える。 2. (E-G2)(E-2) TOEICの問題形式に慣れ、問題を正確により早く解く。 3. (E-G2)(E-2) リスニング問題をディクテーション、レシテーションを行いつつ解くことにより、聴解力を養う。さらに、オーバーラッピング、シャドウイングも行うことにより、聴解力だけでなく、読解力、速読力およびスピーキングやライティング力も含めた英語力を総合的に高める。 ことができるようになる。 ■教科書 『公式TOEIC Listening & Reading問題集 2』(ETS：国際ビジネスコミュニケーション協会 2017年2月発行) ■参考文献 Tex加藤、『TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ』(朝日新聞出版) ■関連科目 英語1～4、英語演習1～4、英語特講 ■成績評価方法および基準 種類：定期試験(2回)、小テスト(15回)、方式：記述式 定期考査成績および最終成績：中間テスト40%、期末テスト40%、小テスト20%で評価する。90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70未満「可」、60点未満「不可」。ただし、TOEIC公開テストか本校実施のTOEIC IPテストで、550点以上取れた者はテストの点数に関係なく「秀」、450点以上取得者は「優」とし、中間・期末考査と比較して評価の高い方を最終成績とする。 ■授業時間外に必要な学修 次の授業で行う箇所を予め辞書等を用いて調べておくこと。 授業で指定された、単語、熟語、表現を覚えておくこと。授業の開始時に毎回、『金のフレーズ』から30語づつ、単語テストを実施する。 ■教員所在場所 本館2階 教務部 ■授業評価アンケート実施方法 2月に Web Class への入力にて実施する。 ■メールアドレス takahata@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 金曜日 12:15～12:55

科目名： 外国文献講読a		英文名： English Reading a	
担当者： 高畑時子			
工学科： 総合システム	学年： 5	コース： 全	開講期： 前期
科目種別： 選択	単位数： 1		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 Lesson 1 SHAPES 平面図と立体図 第 2週 Lesson 2 PROPERTIES I 物質の特性と状態の変化 第 3週 Lesson 2 Reading 元素・化合物・混合物 第 4週 Lesson 3 LOCATION 平面上の位置、立体的な位置 第 5週 Lesson 4 PROPERTIES II 部分の名前と形 第 6週 Lesson 4 Reading 緯度と経度 第 7週 Lesson 5 STRUCTURE I 部分と全体、各部分のつながり 第 8週 Lesson 6 STRUCTURE II 材料とその構成要素 第 9週 答案返却・解答 Lesson 6 Reading 地球の構造 第10週 Lesson 7 MEASUREMENT I どのようにして図形の大きさを測るか 第11週 Lesson 7 Reading 測定の基準 第12週 Lesson 8 PROCESS I 自動車のパーツと実験用具 第13週 Lesson 9 PROCESS II 能力を表すことばと身体の機能 第14週 Lesson 9 Reading 人の身体器官 第15週 Lesson 10 PROCESS III 順序や前後関係の表し方	■授業概要・方法等 理工系の学生に必要な基礎的な科学技術の概念や英語の使い方を学び、これまで学んできた英語と、科学的学習やコミュニケーションに使う英語の橋渡し的な学習をする。その際、語彙学習、構文学習、音読活動等を行い、理解力の向上を図る。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-2)(E-G2) 科学技術英語への関心を高める。 2. (E-2)(E-G2) 科学技術英語特有の基礎的単語や明快、簡潔な表現を知る。 3. (E-2)(E-G2) 科学技術英語の基礎的構文を学ぶ。 4. (E-2)(E-G2) 科学技術英語の音読が滑らかにできる。 ことができるようになる。 ■教科書『General Science -はじめての科学技術英語-』小林忠夫、他著（南雲堂）(ISBN 4-523-17276-5) ■参考文献 なし ■関連科目 英語1～4、英語演習1～4 ■成績評価方法および基準 種類： 定期試験（2回）、方式： 記述式 定期考査成績：定期試験（80%）、課題（20%）で評価する。 最終成績：定期考査成績の平均とする。 90点以上「秀」80点以上～90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」、60点未満「不可」 ■授業時間外に必要な学修 あらかじめ本文に目を通し、単語や、文法についての予習をしておくこと。また、教科書付録のAssignmentを毎回提出すること。 ■教員所在場所 本館2階 教務部 ■授業評価アンケート実施方法 10月に Web Class への入力にて実施する。 ■メールアドレス takahata@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 月曜日 12:15～12:55

科目名： 外国文献講読b		英文名： English Reading b	
担当者： 高畑時子			
工学科： 総合システム	学年： 5	コース： 全	開講期： 後期
科目種別： 選択	単位数： 1		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 答案返却・解答 Lesson 11 PROCESS IV 植物や水のサイクル 第 2週 Lesson 11 Reading 炭素の循環経路 第 3週 Lesson 12 QUANTITY 数量を表すことば Reading ビタミンのはたらき 第 4週 Lesson 13 CAUSE AND EFFECT I 動作とその結果 第 5週 Lesson 14 CAUSE AND EFFECT II バルブの働き 第 6週 Lesson 14 Reading サーモスタットの原理 第 7週 Lesson 15 PROPORTION I 相対的な大きさの表し方 第 8週 Lesson 16 PROPORTION II 正比例と反比例 第 9週 Lesson 16 Reading ガスと圧力 第10週 Lesson 17 MEASUREMENT II 何かが起こる頻度と傾向とその可能性 第11週 Lesson 18 MEASURING PROBABILITY 確率の表し方 第12週 Lesson 18 Reading 空気中の二酸化炭素 第13週 Lesson 19 METHOD I どのような方法でしたらいいのか 第14週 Lesson 20 METHOD II 実験方法の説明の仕方 Reading 分析と合成	■授業概要・方法等 理工系の学生に必要な基礎的な科学技術の概念や英語の使い方を学び、これまで学んできた英語と、科学的学習やコミュニケーションに使う英語の橋渡し的な学習をする。その際、語彙学習、構文学習、音読活動等を行い、理解力の向上を図る。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-2)(E-G2) 科学技術英語への関心を高める。 2. (E-2)(E-G2) 科学技術英語特有の基礎的単語や明快、簡潔な表現を知る。 3. (E-2)(E-G2) 科学技術英語の基礎的構文を学ぶ。 4. (E-2)(E-G2) 科学技術英語の音読が滑らかにできる。 ことができるようになる。 ■教科書『General Science -はじめての科学技術英語-』小林忠夫、他著（南雲堂）(ISBN 4-523-17276-5) ■参考文献 なし ■関連科目 英語1～4、英語演習1～4 ■成績評価方法および基準 種類： 定期試験（2回）、方式： 記述式 定期考査成績：定期試験（80%）、課題（20%）で評価する。 最終成績：定期考査成績の平均とする。 90点以上「秀」80点以上～90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」、60点未満「不可」 ■授業時間外に必要な学修 あらかじめ本文に目を通し、単語や、文法についての予習をしておくこと。また、教科書付録のAssignmentを毎回提出すること。 ■教員所在場所 本館2階 教務部 ■授業評価アンケート実施方法 2月に Web Class への入力にて実施する。 ■メールアドレス takahata@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 月曜日 12:15～12:55

科目名: 中国語 初級a		英文名: Chinese(beginner‘s class)a	
担当者: 小林千津(王樹岩)			
工学科: 総合システム	学年: 5		開講期: 前期
科目種別: 選択	単位数: 0.5		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 ガイダンス(中国語の特徴と概要及び授業の進め方) 第 2週 発音編(音節の成り立ち、母音1) 第 3週 発音編(子音1) 第 4週 発音編(子音2) 第 5週 発音編(母音2) 第 6週 発音編(母音3) 第 7週 発音編(音節のつづり方、声調の変化) 第 8週 発音編(発音の総合練習1) 第 9週 テスト返却・解説と共通弱点の補強練習 第10週 発音編(発音の総合練習2) 第11週 第1課 你好!(こんにちは!) 第12週 第2課 谢谢! (ありがとう。) 第13週 第3課 你叫什么名字?(あなたの名前は?) 第14週 第4課 我是日本人。(わたしは日本人です。) 第15週 第4課の継続	■授業概要・方法等 授業概要: ①中国語発音(ピンイン)の学習 ②挨拶語の学習 ③自己紹介の習得 授業方法: ①日本語ローマ字と比べながらピンインを教える。 ②各課の基本文型や文法を教え、本文の反復音読やロールプレイで練習をする。 ③練習問題を使って理解を深め、熟練さをあげる。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は, この授業を履修することによって, 1. (E-G2)(E-2)中国語の背景となる歴史や文化・自然条件や風俗・習慣、発想・価値観を知り、自国との対比において理解し、自然との調和を考慮した視点で物事を考える、 2. (E-G2)(E-2) 言語学、音韻学的に中国語を理解し、中国語の基礎学力を身に付けます。具体的には、前期に於いては、中国語発音記号(ピンイン)の読み、書き、聞き、話すことができ、字引きを利用できるように習得する。中国語での挨拶ができ、自己紹介ができるように習得する。 ■教科書 標準高校中国語(白帝社)を使用します。また、夏季休暇には課題プリントを課します。 ■参考文献 その他の教材。 ■関連科目 特にありません。 ■成績評価方法および基準 種類:定期試験(2回) 方式:記述式, リスニング 定期考査成績:(中間)記述式70点、リスニング30点。 (期末)記述式60点、リスニング30点。 夏季課題(プリント) 10点。(期末点に加算します。) 最終成績 : 2回の定期考査の成績の平均点とします。 90点以上 「秀」, 80点以上～90点未満 「優」, 70点以上～80点未満 「良」, 60点以上～70点未満 「可」, 60点未満 「不可」 と評定します。 ■授業以外に必要な学習:教科書の中の練習問題と課題プリントを使った予習と復習 ■授業アンケート実施方法 10月に Web Class にて実施します。 ■教員所在場所 図書館1階 国際交流部 ■メールアドレス kobayashi@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 土曜午後

科目名: 中国語 初級b		英文名: Chinese (beginner‘s class) b	
担当者:小林千津(王樹岩)			
工学科: 総合システム	学年: 5		開講期: 後期
科目種別: 選択	単位数: 0.5		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 答案返却・解説と共通弱点の補強練習 第 2週 第5課 你是不是高中生?(あなたは高校生ですか。) 第 3週 第5課の継続 第 4週 第6課 这是什么?(これは何ですか。) 第 5週 第6課の継続 第 6週 第7課 这是我的词典 (これはわたしの辞書です。) 第 7週 第7課の継続 第 8週 第8課 你喝茶吗?(あなたはお茶を飲みますか。) 第 9週 第8課の継続 第10週 答案返却・解説と共通弱点の補強練習 第11週 第9課 这个很好。 (これはとてもよい。) 第12週 第9課の継続 第13週 第10課 你有零钱吗?(小銭をお持ちですか。) 第14週 第10課の継続 第15週 第10課の継続	■授業概要・方法等 授業概要: 述語文を中心として、名詞、動詞、形容詞、指示代詞、疑問詞、所属・所有、数字などの使い方について学習する。 授業方法: ①中国背景を紹介しながら各課の重要な表現や文法を教える。 ②本文の反復音読やロールプレイで練習をする。 ③練習問題を使って理解を深める。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は, この授業を履修することによって, 1.(E-G2)(E-2) 背景となる中国の歴史や文化・自然条件や風俗・習慣、発想・価値観を知り、自国との対比において理解し、自然との調和を考慮した視点で物事を考えることがができるようになります。 2. (E-G2)(E-2)中国語言語学、音韻学的に中国語を理解し、各種述語文の基本文型や語彙を習得し、最も使う日常会話ができるように習得することができる。 ■教科書 標準高校中国語(白帝社) ■参考文献 その他の教材。 ■関連科目 特にありません。 ■成績評価方法および基準 種類 : 定期試験 方式 : 記述式, リスニング 成績 : 記述式70点、リスニング30点。 最終成績 : 2回の定期考査の成績の平均点とします。 90点以上 「秀」, 80点以上～90点未満 「優」, 70点以上～80点未満 「良」, 60点以上～70点未満 「可」, 60点未満 「不可」 と評定します。 ■授業以外に必要な学習:教科書の中の練習問題と課題プリントを使った予習と復習 ■授業アンケート実施方法 2月に Web Class にて実施します。 ■教員所在場所 図書館1階 国際交流部 ■メールアドレス kobayashi@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 土曜午後

科目名: 中国語 中級 a		英文名: Chinese(intermediate class)a	
担当者: 小林千津(王樹岩)			
工学科: 総合システム	学年: 5		開講期: 前期
科目種別: 選択	単位数: 0.5		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 ガイダンス、第11課 介绍一下。(ちょっと紹介します。) 第 2週 第11課の継続 第 3週 第12課 你家有几口人?(何人家族ですか。) 第 4週 第12課の継続 第 5週 第13課 你们班有多少学生？(あなたのクラスには何人の学生がいますか。) 第 6週 第13課の継続 第 7週 第14課 现在几点了？ (今何時ですか。) 第 8週 第14課の継続 第 9週 答案返却・解説と共通弱点の補強練習 第10週 第15課 今天几月几号？(今日は何月何日ですか。) 第11週 第15課の継続 第12週 第16課 你几点开始学习？(何時に勉強を始めますか。) 第13週 第16課の継続 第14週 第17課 你每天学习几个小时？(何時間勉強しますか。) 第15週 第17課の継続	■授業概要・方法等 授業概要: 場所、時間、月日、曜日の表し方や疑問代詞、助数詞、動詞の重ね型などの使い方について学習する。 授業方法: ①中国背景を紹介しながら各課の重要な表現や文法を教える。 ②本文の反復音読やロールプレイで練習をする。 ③練習問題を使って理解を深める。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者はこの授業を履修することによって, 1.(E-G2)(E-2) 背景となる中国の歴史や文化・自然条件や風俗・習慣、発想・価値観を知り、自国との対比において理解し、自然との調和を考慮した視点で物事を考えることがができるようになります。 2. (E-G2)(E-2)中国語言語学、音韻学的に中国語を理解し、各種基本文型や語彙を習得し、最も使う日常会話ができるように習得することができる。 ■教科書 標準高校中国語(白帝社) ■参考文献 特にありません。 ■関連科目 特にありません。 ■成績評価方法および基準 種類:定期試験(2回) 方式:記述式, リスニング 定期考査成績 : (中間)記述式70点、リスニング30点。 (期末)記述式60点、リスニング30点。 夏季課題(プリント) 10点。(期末点に加算します。) 最終成績 : 2回の定期考査の成績の平均点とします。 90点以上 「秀」, 80点以上～90点未満 「優」, 70点以上～80点未満 「良」, 60点以上～70点未満 「可」, 60点未満 「不可」 と評定します。 ■授業以外に必要な学習:教科書の中の練習問題と課題プリントを使った予習と復習 ■授業アンケート実施方法 10月にWeb Class にて実施します。 ■教員所在場所 図書館1階 国際交流部室 ■オフィスアワー 土曜午後 ■メールアドレス kobayashi@ktc.ac.jp

科目名: 中国語 中級 b		英文名: Chinese (intermediate class)b	
担当者: 小林千津(王樹岩)			
工学科: 総合システム	学年: 5		開講期: 後期
科目種別: 選択	単位数: 0.5		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 答案返却・解説と共通弱点の補強練習 第 2週 第18課 王强来了吗？(王強君は来ましたか。) 第 3週 第18課の継続 第 4週 第19課 听说这部电影很有意思?(この映画はとても面白そうです。) 第 5週 第19課の継続 第 6週 第20課 这儿可以坐吗？(ここに座ってもいいですか。) 第 7週 第20課の継続 第 8週 第20課の継続 第 9週 第21課 你会滑雪吗？(あなたはスキーができますか。) 第10週 答案返却・解説と共通弱点の補強練習 第11週 第21課の継続 第12週 第21課の継続 第13週 第22課 明天我跟同学一起打网球。(明日私はクラスメートと一緒にテニスをします。) 第14週 第22課の継続 第15週 第22課の継続	■授業概要・方法等 授業概要: 完了や経験などを表す文や動詞の連動文、伝聞の表現、助動詞や前置詞などについて学習する。 授業方法: ①中国背景を紹介しながら各課の重要な表現や文法を教える。 ②本文の反復音読やロールプレイで練習をする。 ③練習問題を使って理解を深める。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者はこの授業を履修することによって, 1.(E-G2) 中国語の背景となる歴史や文化・自然条件や風俗・習慣、発想・価値観を知り、自国との対比において理解し、自然との調和を考慮した視点で物事を考える。 2.(E-G2)(E-2)中国語言語学、音韻学的に中国語を理解し、各種基本文型や語彙を習得し、最も使う日常会話ができるように習得することができる。 ■教科書 標準高校中国語(白帝社) ■参考文献 その他の教材。 ■関連科目 特にありません。 ■成績評価方法および基準 種類 : 定期試験 方式 : 記述式, リスニング 成績 : 記述式70点、リスニング30点。 最終成績 : 2回の定期考査の成績の平均点とします。 90点以上 「秀」, 80点以上～90点未満 「優」, 70点以上～80点未満 「良」, 60点以上～70点未満 「可」, 60点未満 「不可」 と評定します。 ■授業以外に必要な学習:教科書の中の練習問題と課題プリントを使った予習と復習 ■授業アンケート実施方法 2月にWeb Class にて実施します。 ■教員所在場所 図書1階 国際交流部室 ■オフィスアワー土曜午後 ■メールアドレス kobayashi@ktc.ac.jp

科目名: 中国語 上級 a		英文名: Chinese(intermediate class)a	
担当者: 小林千津(王樹岩)			
工学科: 総合システム	学年: 5		開講期: 前期
科目種別: 選択	単位数: 0.5		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 ガイダンス、第23課 桌子上放着什么？(机の上には何が置いてありますか。) 第 2週 第23課の継続 第 3週 第23課の継続 第 4週 第24課 你弟弟在干什么呢？(弟さんは何をしていますか。) 第 5週 第24課の継続 第 6週 第25課 我身体不舒服。(私は体の具合が悪い。) 第 7週 第25課の継続 第 8週 第25課の継続 第 9週 答案返却・解説と共通弱点の補強練習 第10週 第26課 离这儿远吗？(ここからは遠いですか。) 第11週 第26課の継続 第12週 第26課の継続 第13週 第27課 你说汉语说得很好。(あなたは中国語を話すのがとても上手です。) 第14週 第27課の継続 第15週 第27課の継続	■授業概要・方法等 授業概要: 持続、進行を表す文や、主述述語文、選択疑問文の表し方、方位詞、程度補語、前置詞“离”、副詞“就”などの使い方について学習する。 授業方法: ①中国背景を紹介しながら各課の重要な表現や文法を教える。 ②本文の反復音読やロールプレイで練習をする。 ③練習問題を使って理解を深める。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者はこの授業を履修することによって, 1.(E-G2)(E-2) 背景となる中国の歴史や文化・自然条件や風俗・習慣、発想・価値観を知り、自国との対比において理解し、自然との調和を考慮した視点で物事を考えることがができるようになります。 2. (E-G2)(E-2)中国語言語学、音韻学的に中国語を理解し、各種基本文型や語彙を習得し、最も使う日常会話ができるように習得することができる。 ■教科書 標準高校中国語(白帝社) ■参考文献 その他の教材。 ■関連科目 特にありません。 ■成績評価方法および基準 種類:定期試験(2回) 方式:記述式, リスニング 定期考査成績 : (中間)記述式70点、リスニング30点。 (期末)記述式60点、リスニング30点。 夏季課題(プリント) 10点。(期末点に加算します。) 最終成績 : 2回の定期考査の成績の平均点とします。 90点以上 「秀」, 80点以上～90点未満 「優」, 70点以上～80点未満 「良」, 60点以上～70点未満 「可」, 60点未満 「不可」 と評定します。 ■授業以外に必要な学習:教科書の中の練習問題と課題プリントを使った予習と復習 ■授業アンケート実施方法 10月にWeb Class にて実施します。 ■教員所在場所 図書館1階 国際交流部室 ■オフィスアワー 土曜午後 ■メールアドレス kobayashi@ktc.ac.jp

科目名: 中国語 上級 b		英文名: Chinese (intermediate class)b	
担当者: 小林千津(王樹岩)			
工学科: 総合システム	学年: 5		開講期: 後期
科目種別: 選択	単位数: 0.5		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 答案返却・解説と共通弱点の補強練習 第 2週 第28課 什么时候到北京的？(いつ北京に着いたのですか。) 第 3週 第28課の継続 第 4週 第28課の継続 第 5週 第29課 小的比大的好。(小さいのは大きいのよりよい。) 第 6週 第29課の継続 第 7週 第29課の継続 第 8週 第30課 准备好了吗？(準備はできましたか。) 第 9週 第30課の継続 第10週 答案返却・解説と共通弱点の補強練習 第11週 第31課 快要下雨了。(今にも雨が降りそうです。) 第12週 第31課の継続 第13週 第32課 祝你成功！(成功を祈ります。) 第14週 第32課の継続 第15週 第32課の継続	■授業概要・方法等 授業概要:比較の表現や二つの目的語を取る動詞、結果補語、方向補語、自然現象の表し方などについて学習する。 授業方法: ①中国背景を紹介しながら各課の重要な表現や文法を教える。 ②本文の反復音読やロールプレイで練習をする。 ③練習問題を使って理解を深める。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者はこの授業を履修することによって, 1.(E-G2) 中国語の背景となる歴史や文化・自然条件や風俗・習慣、発想・価値観を知り、自国との対比において理解し、自然との調和を考慮した視点で物事を考える。 2.(E-G2)(E-2)中国語言語学、音韻学的に中国語を理解し、各種基本文型や語彙を習得し、最も使う日常会話ができるように習得することができる。 ■教科書 標準高校中国語(白帝社) ■参考文献 その他の教材。 ■関連科目 特にありません。 ■成績評価方法および基準 種類 : 定期試験 方式 : 記述式, リスニング 成績 : 記述式70点、リスニング30点。 最終成績 : 2回の定期考査の成績の平均点とします。 90点以上 「秀」, 80点以上～90点未満 「優」, 70点以上～80点未満 「良」, 60点以上～70点未満 「可」, 60点未満 「不可」 と評定します。 ■授業以外に必要な学習:教科書の中の練習問題と課題プリントを使った予習と復習 ■授業アンケート実施方法 2月にWeb Class にて実施します。 ■教員所在場所 図書1階 国際交流部室 ■オフィスアワー 土曜午後 ■メールアドレス kobayashi@ktc.ac.jp

科目名: 韓国語Ⅰa		英文名: Korean Language Ia	
担当者: 李 辰淑(イーチンスク)			
工学科: 総合システム	学年: 5	コース: 全	開講期: 前期
科目種別: 選択	単位数: 1		

授 業 計 画	授 業 概 要
第1週 韓国の紹介 1課 韓国語とは ハングル文字のしくみ 1課文字と発音(1) 1－1単母音、1－2初声・その1(鼻音・流音) 第2週 1課単母音、初声・鼻音・流音の復習、 (1－3)半母音+単母音(1－4)終声(パッチム) 第3週 2課 文字と発音(2) 2－1初声・その2(平音) 2－2 発音の規則・有声音化 第4週 2課 2－3 半母音＋単母音 二重母音 2－4発音の規則;連音化 第5週 3課文字と発音(3) 3－1初声。その3(激音) 3－2 初声・その4(濃音) 第6週 3課 終声・その2 3－4 発音の規則:濃音化 第7週 4課 韓国人です。4－1 助詞 ～は、 4－2 ～です。・～ですか？ 第8週 4課 ～と申します。～といいます。 4課の復習とまとめ 第9週 答案返却と解答 第10週 5課 韓国語は専攻ではありません。5－1 助詞 ～が 5－2 丁寧表現 ～です。・～ですか？ 第11週 5課 5－3 ～ではありません。5課の復習 第12週 6課 講義室は階段の横にあります。6－1 漢数詞 第13週 6課 6－2 時間と場所の助詞 ～に 6－3 ～あります・います。～ありません・いません。 第14週 6課の復習とまとめ5, 6。 第15週 6課までの応用と復習。	■授業概要・方法 テキストを中心に日本語のあ、い、う、え、おにあたる韓国語の単母音から覚え始め、読み、書き、聞き取り、基礎力をしっかり正確に身につける事を目標にする。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2)韓国語を確実に学んで簡単な意思卒が出来るような授業を目指し、 語学力をしっかり身につけて言葉の理解が出来るようにする。 2. (E-G2)相手の国の言葉を知らずにその国を理解することはできない、 韓国の言葉を理解すると共に隣国の文化の理解を深める事が出来、 これからの日韓の友好関係の持続の為、若者のcommunication 場を広げる きっかけになる事を目標にする。 ■教科書(韓国語の世界へ) 入門編 ーコツコツ学び、カジュアルに話そうー 朝日出版社 ■参考文献 ★Google 翻訳機、エキサイト翻訳、 ほっとコリア(ハングルキーボード機能付き韓国語翻訳) ★朝鮮語辞書 小学館、金星出版社 ■関連科目 特になし ■成績評価方法および基準 種類: 定期試験、方式: 記述式、読み、聞き取り 定期考査成績:定期試験と夏休みの課題、冬休みの課題各10点加算して評価します。 最終成績:定期考査成績の平均で評価します。 90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」 、60点未満「不可」 ■授業時間以外に必要な学習・・・ 科目が始まる前に付録についているCDを事前に聴いて発音に慣れる事と単語を覚える事。 ■授業評価アンケート実施方法 10月にWebクラスにて実施します。 ■メールアドレス sook127@asint.jp ■オフィスアワー 質問はメール形式 ■教員所在場所 図書館1階

科目名: 韓国語Ⅰb		英文名: Korean Language Ib	
担当者: 李 辰淑(イーチンスク)			
工学科: 総合システム	学年: 5	コース: 全	開講期: 後期
科目種別: 選択	単位数: 1		

授 業 計 画	授 業 概 要
第 1週 答案返却と解答 第 2週 前期の復習、第7課 ―午後時間は大丈夫ですか？ 7－1へヨ体の作り方(1) 7－2 目的助詞～を 7－3 ～も 第 3週 8課 小学生にテコンドを教えています。指示詞 8－1へヨ体作り方(2) 第 4週 8課 8－1へヨ体復習 8－2 助詞～で 8－3 助詞 ～に(人、動物など) 第 5週 8課の復習とまとめ7, 8。 9課 ―ふつう、6時に起きます。 9－1へヨ体作り方(3) 第 6週 9課 9－2 助詞～で 9－3 助詞 移動の起点着点 ～から、～まで。 第7週 9課 9－4 固有数詞 9課の復習 第8週 10課―野球がとても好きです。10－1へヨ体の作り方(4) 10－2 助詞 ～しに 第9週 10課 助詞 時の起点と終点～から～まで、10課の復習、まとめ9, 10 第10週 答案返却と解答 第11週 11課 ―昼ごはん、食べなかったですか？ 11－1過去形の作り方 第12週 11課 11－2 ㅇ語幹の用言 11－3 ～しない、～くない 第13週 11課の復習とまとめ 第14週 12課 春休みに何をするつもりですか？ 12－1 ～されます・お～です・～でいらっしゃいます。 第15週 12課 12－2 ～するつもりです・～するでしょう。 12－3 ～したい 12課の復習とまとめ	テキストを中心に、読み、書き、聞き取り、基礎力をしっかり正確に身につける事を目標にする。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2)韓国語を確実に学んで簡単な意思卒が出来るような授業を目指し、 語学力をしっかり身につけ言葉の理解が出来るようにする。 2. (E-G2)相手の国の言葉を知らずにその国を理解することはできない、 韓国の言葉を理解すると共に隣国の文化の理解を深める事が出来、 これからの日韓の友好関係の持続の為、若者のcommunication 場を広げる きっかけになる事を目標にする。 ことができるようになります。 ■教科書(韓国語の世界へ) 入門編 ーコツコツ学び、カジュアルに話そうー 朝日出版社 ■参考文献 ★Google 翻訳機、エキサイト翻訳、 ★朝鮮語辞書 小学館、金星出版社 ■関連科目 特になし ■成績評価方法および基準 種類: 定期試験、方式: 記述式、読み、聞き取り 定期考査成績:定期試験と夏休みの課題、冬休みの課題各10点加算して評価します。 最終成績:定期考査成績の平均で評価します。 90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」 、60点未満「不可」 ■授業時間以外に必要な学習・・・ 科目が始まる前に付録についているCDを事前に聴いて発音に慣れる事と単語を覚える事。 ■授業評価アンケート実施方法 10月にWebクラスにて実施します。 ■メールアドレス sook127@asint.jp ■オフィスアワー 質問はメール形式 ■教員所在場所 図書館1階

科目名: 韓国語 Ⅱa		英文名: Korean Language Ⅱa	
担当者: 李 辰淑(イーチンスク)			
工学科: 総合システム	学年: 5	コース: 全	開講期: 前期
科目種別: 選択	単位数: 1		

授 業 計 画	授 業 概 要
第1週 1課 何学番ですか？へヨ体、丁寧体 1－1へヨ体の現在形、過去形まとめと復習。 第2週 1課 1－2 丁寧体～です・～ですか？ ～ます・～ますか？ 1課の復習 第3週 2課 韓国語を一所懸命勉強するつもりです。 2－1 ～するつもりです、～するでしょう。 第4週 2課 2－2 ～して、～くて、～で 2－3 ～でしょう？ 2課の復習 第5週 3課 電子辞書 ちょっと見せてください。 3－1 ～だが、～けれど 3－2 形容詞の現在連体形 第6週 3課 3－3 ～してあげる、～してください。3課の復習 第7週 4課 チューターが要りませんか？ 4－1～れば、～たら 4－2 動詞, 存在詞の現在連体形 第8週 4－3 ～しない、～くない、～ではない 4課の復習 第9週 答案返却と解答 第10週 5課 この間、一緒に撮った写真も送りました。 5－1 動詞の過去連体形 第11週 5課～ですね。～ますね。ㅁ変則活用の用言、5課の 復習 第12週 6課 交通事故で道が混んで来られませんでした。 6－1尊敬の接尾辞 ～なさる。 第13週 6－2 理由、原因や因果関係～て、～ので 第14週 6課 6－3 動詞・存在詞の未来連体形、 6－4 ～できない 6課の復習 第15週 リスニングと動詞、形容詞、現在連体系, 動詞過去形、動詞・存在詞の未来連体形の復習とまとめ	■授業概要・方法 テキストを中心に、正確な発音のしかた、、書きかた、聞き取りを始め、今までの基礎を基に復習を重ねしっかり文の活用が出来る事を目標にし、日常会話、自己表現が出来るよう力付ける。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2)(E-2)韓国語を確実に学んで簡単な意思卒が出来るような授業を目指し、語学力をしっかり身につけ言葉の理解が出来るようにする。 2. (E-G2)(E-2)相手の国の言葉を知らずにその国を理解することはできない、韓国の言葉を理解すると共に隣国の文化の理解を深める事が出来、これからの日韓の友好関係の持続の為、若者のcommunication 場を広げるきっかけになる事を目標にする。 ■教科書(韓国語の世界へ) 初中級編 ーコツコツ学び、カジュアルに話そうー 朝日出版社 ■参考文献 ★Google 翻訳機、エキサイト翻訳、ライン韓国翻訳 ★朝鮮語辞書 小学館、金星出版社 ■関連科目 特になし ■成績評価方法および基準 種類: 定期試験、方式: 記述式、読み、聞き取り 定期考査成績:定期試験のみで評価します。 最終成績:定期考査成績の平均に夏休みの課題、冬休みの課題各10点加算して評価します。 90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」 、60点未満「不可」 ■授業時間以外に必要な学習・・・ 科目が始まる前に付録についているCDを事前に聴いて発音に慣れる事と単語を覚える事。 ■授業評価アンケート実施方法 10月にWebクラスにて実施します。 ■メールアドレス sook127@asint.jp ■オフィスアワー 質問はメール形式 ■教員所在場所 図書館1階

科目名: 韓国語 Ⅱb		英文名: Korean Language Ⅱb	
担当者: 李 辰淑(イーチンスク)			
工学科: 総合システム	学年: 5	コース: 全	開講期: 後期
科目種別: 選択	単位数: 1		

授 業 計 画	授 業 概 要
第1週 答案返却と解答 第2週 7課暑い夏にサンゲタンを食べます。 7－1 ～した事がある/ない。 7－2 ～ている。 第3週 7課 7－3 ㅂ変則活用の用言 7課の復習 第4週 8課 重たく無いので一人でします。 8－1 ～している。 8－2 ～ので/～だから 第5週 8－3 ～しますね/～しますから。 8課の復習 第6週 9課 日本のように茶碗を持って食べても良いですか？ 9－1 ～けど 第7週 9課 9－2 ～でもいい。 9－3 ㄹ変則活用の用言, 9課の復習 第8週 10課 リムジンバスの方が便利でしょうね？ 10－1 話し手の維持や椎量を表す接尾辞 10－2 ～んですよ/～ですから 第9週 10課 10－3 ～しなければならない。 10課の復習 第10週 答案返却と解答 第11週 11課 難しすぎませんか？ 11－1 ～でしょうか？/～ましょうか？ 第12週 11課 11－2 ～してみる。 11－3 ～出来る/～出来ない 第13週 12課 卒業してもう1回来ようと思います。 12－1 連体形 ～するようだ/～したようだ/～しそうだ 第14週 12課 12－2 ～しようと思う。 12－3 ～してはいけない。 第15週 これまでのまとめ、総復習	■授業概要・方法 テキストを中心に、正確な発音のしかた、、書きかた、聞き取りを始め、今までの基礎を基に復習を重ねしっかり文の活用が出来る事を目標にし、日常会話、自己表現が出来るよう力付けるように学習する。 ■学習・教育目標および到達目標 受講者は、この授業を履修することによって、 1. (E-G2)(E-2)韓国語を確実に学んで簡単な意思卒が出来るような授業を目指し、語学力をしっかり身につけ言葉の理解が出来るようにする。 2. (E-G2)(E-2)相手の国の言葉を知らずにその国を理解することはできない、韓国の言葉を理解すると共に隣国の文化の理解を深める事が出来、これからの日韓の友好関係の持続の為、若者のcommunication 場を広げるきっかけになる事を目標にする。 ■教科書(韓国語の世界へ) 初中級編 ーコツコツ学び、カジュアルに話そうー 朝日出版社 ■参考文献 ★Google 翻訳機、エキサイト翻訳、 ★朝鮮語辞書 小学館、金星出版社 ■関連科目 特になし ■成績評価方法および基準 種類: 定期試験、方式: 記述式、読み、聞き取り 定期考査成績:定期試験のみで評価します。 最終成績:定期考査成績の平均に夏休みの課題、冬休みの課題各10点加算して評価します。 90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」 、60点未満「不可」 ■授業時間以外に必要な学習・・・ 科目が始まる前に付録についているCDを事前に聴いて発音に慣れる事と単語を覚える事。 ■授業評価アンケート実施方法 10月にWebクラスにて実施します。 ■メールアドレス sook127@asint.jp ■オフィスアワー 質問はメール形式 ■教員所在場所 図書館1階

科目名: 技術と倫理a		英文名:Engineer Ethics a	
担当者: 嶋野彰夫　奥田昇也			
工学科: 総合システム	学年: 5	コース: 全	開講期: 前期
科目種別: 選択	単位数: 1		

授　業　計　画	授　業　概　要
第1週　ガイダンス、技術者倫理とは？ 第2週　技術者にとっての法律 第3週　産業財産権、倫理綱領 第4週　技術者の義務と責任、倫理的問題解決方法 第5週　事例研究:シティ・コープタワーの危機 第6週　事例研究:スペースシャトル・チャレンジャー号事故 第7週　事例研究:スペースシャトル・チャレンジャー号事故 第8週　優れた倫理的意思決定事例 CVCC エンジンンの開発(本田) 第9週　世界の技術者倫理事件(悪い事例) フォード・ピント事件 第10週　世界の技術者倫理事件(良い事例) ジョンソン・エンド・ジョンソン社タイエノール毒物混入事件 第11週　日本での技術者倫理事例、品質事故 雪印乳業の製品による集団食中毒事件 三菱自動車リコール隠し、タイヤ直撃死傷事件 パロマの湯沸かし器CO 中毒死亡事故 第14週　課題レポート作成 第15週　まとめ	■授業概要・方法等 近年の度重なる重大事故や企業の不祥事など技術者の倫理観に関わる諸問題について、自分自身の問題として考えさせます。科学技術が人類の発展にとって重要なものになり、それを担う技術者の行動が社会におよぼす影響の重大さを認識させます。倫理的問題に直面したときに技術者として正しく行動できる能力を養成します。 ■到達目標 受講者はこの授業を履修することによって、 1.(C-G2)(C-2)人間社会と科学の関係、技術者としての責任について正しく理解する。 2.(D-G2)(D-2)技術者の行動指針を立てそれを遵守する心を持つ。 3.(C-G3)(C-3)企業の一員として必要とされる法律的知識を新たに習得する。 ことができるようになります。 ■教科書 使用しない。適宜プリントを配布します。 ■参考文献 「技術者倫理」札野順著　放送大学教育振興会、「技術者倫理の世界」藤本温編集　森北出版、「土木技術者倫理問題」土木学会、「オムニバス技術者倫理」北海道技術者倫理研究会編　共立出版 ■関連科目　倫理a, b ■成績評価方法および基準 筆記試験は行いません。 最終成績:各教員がレポート100%で評価し、2教員の平均とします。 90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」、60点未満「不可」 ■授業時間外に必要な学修 授業で指示された課題やレポートに取り組むこと。発表練習は必ず各自で行う。 ■教員所在場所 嶋野彰夫:3号館1F電気情報教員室、 奥田昇也:本館1階学生部 ■授業評価アンケート実施方法　10月にWeb Classにて実施します。 ■メールアドレス　shimano@ktc.ac.jp、buma@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 嶋野:月曜日18:00～18:30、奥田:月～水曜日　12:15～13:00

科目名: 技術と倫理b		英文名:Engineer Ethics b	
担当者: 井戸辻吉三　安井宣人			
工学科: 総合システム	学年: 5	コース: 全	開講期: 後期
科目種別: 選択	単位数: 1		

授　業　計　画	授　業　概　要
第1週　電気学会、情報処理学会の倫理綱領について 第2週　電子情報通信学会倫理綱領について 第3週　事例紹介 第4週　事例研究:原子力発電所の事故 第5週　事例研究:原子力発電所の事故 第6週　レポートの作成及び発表準備 第7週　事例研究の発表および議論 第8週　土木学会倫理規定、技術士倫理要綱について 第9週　事例研究:市の下水処理と民間工場排水 第10週　事例研究の発表および議論 第11週　土木学会;もう1つのPDCAの紹介 第12週　事例研究:道路整備事業と不法投棄物 第13週　事例研究の発表および議論 第14週　事例研究:六本木ヒルズ回転ドア事故 第15週　まとめ	■授業概要・方法等 近年の度重なる重大事故や企業の不祥事など技術者の倫理観に関わる諸問題について、自分自身の問題として考えさせます。科学技術が人類の発展にとって重要なものになり、それを担う技術者の行動が社会におよぼす影響の重大さを認識させます。倫理的問題に直面したときに技術者として正しく行動できる能力を養成します。 ■到達目標 受講者はこの授業を履修することによって、 1.(C-G2)(C-2)人間社会と科学の関係、技術者としての責任について正しく理解する。 2.(D-G2)(D-2)技術者の行動指針を立てそれを遵守する心を持つ。 3.(C-G3)(C-3)企業の一員として必要とされる法律的知識を新たに習得する。 ことができるようになります。 ■教科書 使用しない。適宜プリントを配布します。 ■参考文献 「技術者倫理」札野順著　放送大学教育振興会、「技術者倫理の世界」藤本温編集　森北出版、「土木技術者倫理問題」土木学会、「オムニバス技術者倫理」北海道技術者倫理研究会編　共立出版 ■関連科目　倫理a,b ■成績評価方法および基準 筆記試験は行いません。 最終成績:各教員がレポート100%で評価し、2教員の平均とします。 90点以上「秀」、80点以上～90点未満「優」、70点以上～80点未満「良」、60点以上～70点未満「可」、60点未満「不可」 ■授業時間外に必要な学修 授業で指示された課題やレポートに取り組むこと。発表練習は必ず各自で行う。 ■教員所在場所 井戸辻吉三:3号館1F　電気電子・情報系教員室専攻科　安井宜人:本館1F学生部 ■授業評価アンケート実施方法　2月にWeb Classにて実施します。 ■メールアドレス　idotsuji@ktc.ac.jp、taguchi@ktc.ac.jp ■オフィスアワー 井戸辻:火曜日12:15～13:00、安井:火曜日と木曜日の8限